

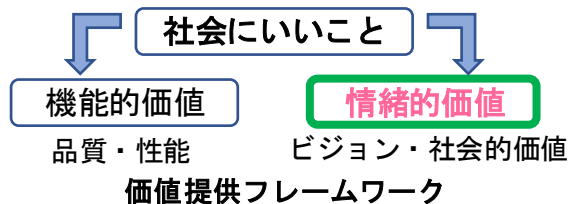
学生が“社会にいいこと”をするラボ

ラボの課題

目的：社会課題の解決に向けて、学生のアイデアでSDGsの実現や社会貢献を果たす

「社会にいいこと」で実現する価値

価値提供フレームワークから、社会課題の解決に向けて、社会に提供すべき価値を「機能的価値」と「情緒的価値」の両面で検討し、その成果を各イベントで実現。7つのプロジェクトチームが課題解決の実現に向けて、活動をおこなった。



ラボの活動報告

【クリスマスマーケットで理大発日本酒の試飲会を実施】

連携パートナー： 室町酒造(株)、嘉美心酒造(株)、倉敷アイビースクエア、岡山理科大学 工学部 滝澤先生、ワイン発行科学センター 金子先生

岡山理科大学と地元酒造が共同開発した日本酒を多くの方に知っていただくことで、岡山の地場産業を盛り上げ、地酒の知名度向上と新たなファン層の獲得を目指す。

フィードバックの収集

岡山理科大学で開発された酵母を使った日本酒「桜華」「eme」の試飲イベントを開催。お酒が苦手な層も楽しめるフルーティーで低アルコールな日本酒のため、「飲みやすくおいしい」といった高評価を獲得。

試飲会で多くの方に魅力を発信

倉敷アイビースクエアのクリスマスマーケットで試飲会を企画・実施。理大発の日本酒(桜華34杯・eme24杯)、その他リキュール(桃10杯・マスカット14杯)の合計92杯を提供。多くの方に関心を持っていただけた。



【中古品交換プラットフォーム「Riverlight」計画】

卒業後に捨てられる、本や品物をキャンパスの先輩後輩の世代間で循環させ、物を大切に使う意識を醸成する。

それらを実現する、中古品交換のアプリの開発を計画。

現地調査

近隣の古本屋やリサイクル店の調査を通じ、各店の価格設定戦略を把握。中古品取引に必要なノウハウを分析した。

交換イベントの実現

アプリ開発には至らなかったが、試験的な交換イベントを企画し、ブラインドボックスを5個販売、書籍交換を20回成立させるなど、学生間の中古品交換のニーズを把握した。



【児童スポーツ支援ボランティア】

連携パートナー： (公財)岡山市ふれあい公社

児童のスポーツ離れや【遊び】を通してスポーツへの苦手意識を改善し、児童の成長に貢献したい

児童クラブへ訪問

旭竜小学校・旭東小学校を訪問し、ドッジボール投げ・大縄跳び・サッカーPKを行い、遊びを通して児童と触れ合った。50名もの児童が参加。

達成感から自信へ

活動後は児童たちに木製のメダルをプレゼントした。形に残るメダルで達成感を与えて自信がつくことで、スポーツへの興味を持つきっかけとなった



学生が“社会にいいこと”をするラボ

【子ども達に夢を届けるギビングツリープロジェクト】

連携パートナー：(株)シグナルプラス、天満屋 岡山本店、イオンモール倉敷、ビックカメラ岡山店、岡山理科大学 岡山/今治キャンパス

養護施設の子供たちにおもちゃを届け、楽しい時間を過ごすとともに、少しでも子供たちの笑顔を増やしたい

ギビングツリー実施による成果

百貨店や複合商業施設、大学キャンパスなど5カ所でギビングツリーを設置し、プレゼントを購入いただける方を募り、合計66個のおもちゃを集めることができた。それらを養護施設に持参し、子ども達に直接届けた。

地域を巻き込む認知拡大の施策

大学広報課と連携した公式リリースを配信し、自らテレビ局や新聞社へ企画を持ち込むことにより、メディア露出を拡大、活動を地域全体の関心事へと高めた。学生の活動としての広告宣伝効果は1000万円以上創出した。



【“いぐさ”の新商品開発】

連携パートナー：永原兼太郎商店、今吉商店

岡山の“いぐさ”の伝統を守り未来へつなぐために、いぐさ製品を通じていぐさ産業の担い手不足や、いぐさ産業全体の衰退を防ぎたい

企業と共同開発した新商品

岡山理科大学の恐竜の足形をモチーフにした天然いぐさの消臭剤「いぐさあらい」とオリジナルデザインの「いぐさコースター」を開発

クラウドファンディング目標達成

多くのご協力をいただき、全67名の方から目標金額30万円に対して36万円の資金を集めることに成功。



【ジビエペットフードのマーケティング活動】

連携パートナー：鬼北町農林課、岡山理科大学 獣医学部 江藤先生 松田先生

ジビエ資源を有効に活用した理大のペットフードの魅力をもっと多くの人に広めていきたい

愛媛県での現地調査

愛媛県にあるジビエペットフード製造企業と獣医学部を訪問。製造の背景や栄養面などをヒアリングし、他のペットフードと差別化できる“栄養価の高さ”や“安全性”、“ストーリー性”があることが分かった。

イベント出店&アンケート調査

アリオ倉敷でのイベントに出店。サンプルを50個配布し、ジャーキーを16個販売した。またアンケートも15件回収し、ジビエには「高級なイメージ」があり、多くの犬が好んで食べてくれることが分かった。



【児童館に木のおもちゃを寄贈】

連携パートナー：あすなる工房、(公財)岡山市ふれあい公社

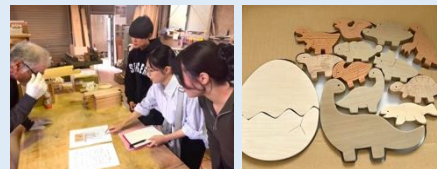
コロナ禍と物価高騰で減少した児童館の木のおもちゃ不足を解消し、子どもたちが木のぬくもりに触れる機会を取り戻す。

クラウドファンディングで161%達成

クラウドファンディングサイト“READYFOR”にて、2ヶ月間で目標金額20万円を大きく超える約32万円を調達。

地元工房におもちゃ製作の依頼

岡山県のあすなる工房様におもちゃの製作を依頼。クラウドファンディングを通してPRすることにより、中山間地域産業の振興も後押し。



担当教員：山口隆久、内田誠、高橋良平、張善会
所属学生数 36名

ポスター制作：(編集委員)濱野美咲・巖澤宇・西谷有司・松本拓也・板谷匠晃・山里匡輝・光田龍馬